



かけはし



人形供養祭

9月16日、県内のJA葬祭グループは統一事業として「人形供養祭」を開催しました。当社では、由利本荘市川口の「虹のホールゆり」を会場とし、約350名の参加者を迎えました。

最初に当社の畠山勝一代表取締役が「人形は子供の成長や家族の思い出が詰まったかけがえのないものです。愛情を持って供養することは大変尊いことであり、今後もうこうした催しを社会貢献として続けていきたい。」とあいさつしました。

供養の形式は例年、仏式と神式で交互に執り行っていますが、今年は日役町の蔵堅寺ご住職と同じく泉流寺副住職により、仏式で執り行いました。

蔵堅寺ご住職は、参加者への法話として「人形は思い入れがあるので、右から左へと簡単には処分できないもの。仏教では、人は元々仏の命を持っていると説いています。仏の命とは物に対し、家族に対し、あるいは自然に対し感謝する心です。皆さんが人形を供養するという行為は、自分の命を大切にすることであり、人も物も大切にされる仏の姿そのものです。その姿は、必ず子や孫に引き継がれることでしょう。」と話されました。



この人に聞く

第2回

興昌寺二十五世
大坂高昭 住職
(由利本荘市高尾)

「秋田の仏事」や県内曹洞宗寺院の歴史をまとめた「秋田県曹洞宗寺伝大要」など、多くの書籍をご執筆されているご住職にお話を伺いました。

昨 年の10月、「権大教師」に任命された
と伺いましたが、どういう役職なの
でしょうか。

「曹洞宗の僧侶の位のひとつですが、本山の御専使となって、寺院の晋山式など重要な儀式に出席することなどが主な役目になります。本来は、本山への貢献や宗門での実績等により拝するものですが、私の場合は、布教師の経歴や『秋田県曹洞宗寺伝大要』が評価されたものと思います。」

方

丈様は、これまで「秋田県曹洞宗編年史」、「秋田の仏事」、「あきた仏事110番」、「北羽南朝の残照」、「随想 道への路」、「禅と興昌寺」、「日めくり秋田歳時記」など、多くの書籍をご執筆されていらっしやいますね。何か書くきっかけがあったのでしょうか。特に『秋田の仏事』は、前から書かねばならないと思っていたテーマでした。葬儀には各宗派が決めた決まり事があります。それに地域に根付いた風習がありますが、これが、ごちゃ混ぜの仏事となっていました。本来やるべきことが省略されて、やらなくてもいいような習慣がひとり歩きしている状態でした。いざ取り掛かってみると実に骨の折れる作業となりましたが、スタンダードレベルとして、ここだけは心得てほしいという気持ちで書き上げました。」

仏

事のマナーで気になることはありませんか。

「仏事作法における秋田県の特徴はおしなべていいねい過ぎ、かえって礼儀にかなわない

「仏事作法における秋田県の特徴はおしなべていいねい過ぎ、かえって礼儀にかなわない」

ということがありそうです。その一つが、自宅葬などで玄関に入ると真つ先に祭壇の前進み拝礼するものと心得ている人が多いことです。開式まで時間がある場合はまだしも、開式間際で既に他の参列者が座っているような場合でも、その間をかき分けるようにして進み、時には祭壇前に待機していた導師が座を移さなければなりません。しかも、鐘があれば「カンカン」鳴らしたり、中には木魚を「ポクポク」打つ人もおり、さらには玄関口に受付があっても香典などをわざわざ自分で祭壇に供える人さえ見受けられます。文字通り直接霊前で拝礼し、香典等もじかに供えたいという気持ちはわかりますが、参列者には式の中で焼香してもらおう次第になっており、その際拝礼しても十分に心が伝わりますので、あえて事前に祭壇の前で拝礼するまでもないし、受付があった場合、香典は受付の係りの人に渡すのが常識と思われるす。

また、清め塩について。本来は塩を軽くつまんで自分の肩の方へかけるものです。県内

の多くの地域では、塩をなめて、うがいをし
て吐き出す光景が見られます。決して美しい
行為には見えませんのでぜひ止めてほしいこ
とです。おそらく、うがいの習慣は神式葬儀
の『手水の儀』との混同と思われる。浄土
真宗では、死は穢れではないとの理由から清
め塩を廃止しています。どうしても清め塩を
行うのであれば、世話人が待機し、一人が会
葬者の手に水をかけてやり、一人が塩を肩な
どにふりかけてやる方法が望ましいといえま
す。」

マ ナーについては、この紙面でも取り
上げてまいりますのでご教示をお願
いします。

さて、由利地域では葬式といえば宗教者に
お願いし、ご近所にお知らせすることが一般
的となつていますが、阪神淡路大震災以降、
近親者のみで行う「家族葬」が多くなつてい
ます。こうした変化をどうお考えですか。
「最近、『故人の遺志により近親者のみで葬
儀を済ませました』というケースがあります。
おそらくその背景には他人に迷惑を掛けたく
ないという心情があるものと思われま。学
校教育でも『他人には迷惑を掛けるな』、『自
分のことは自分で』と独立心を助長させてき
ました。そうしたことから他人との関わりが

『他人に対し、『ご厄介になります』『お世話になりま す』の感謝の気持ちをなくしてはいけません』

希薄になってしまったように思います。

人間は生まれてから死ぬまで、他人に迷惑
を掛けないで生きることはできません。人生
は迷惑の掛けっぱなしとも言えます。だから
こそ、他人に対し『ご厄介になります』『お
世話になります』の感謝の気持ちをなくして
はいけません。

かつて『村八分』という言葉がありました。
村の掟や秩序を破った人や家族に対し、絶交
するものです。しかし、十分のうち二分、す
なわち葬儀と火事だけはどんなことがあつて
も助け合う相互扶助のルールがありました。
『家族葬』を決して否定するものではありません。
事件により、そうせざるを得ない場合
もあるでしょう。

しかし、人が社会的存在である以上、亡く
なったことをお知らせするのは、その存在に
けじめをつける意味において必要なことなの
です。葬儀を出す家がお世話になることを厭
わず、また、地域の皆が力を出し合うことは
最低限の社会の決まりごとなのです。

葬儀に限らず、少子高齢化に向かう現代社

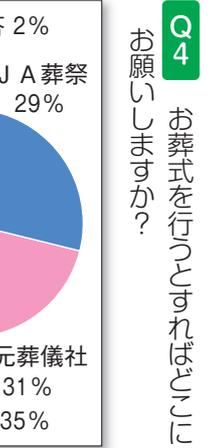
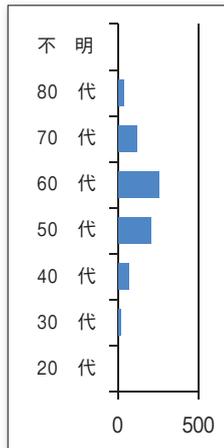
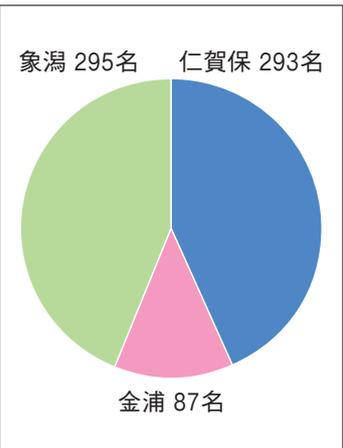
会にあって、地域を守る重要な手立ては相互
扶助の精神であると思えます。我々僧侶も地
域の安寧を願い、行動していくことが使命で
あると感じています。

相 互扶助は、私たち協同組合の原点で
もあります。折しも今年には国際協同
組合同。地域の絆を深めていくよう努力して
まいります。方丈様には、ますますお元気で
啓蒙活動されることをご期待いたします。



西部地区
葬儀に関する
意識調査結果

西部地区への葬祭ホール建設に向け、8月から9月にかけて開催したJAの座談会出席者を対象に「葬儀に関する意識調査」を実施いたしました。結果をご報告いたします。



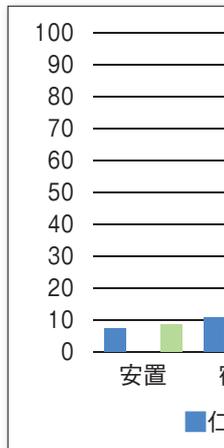
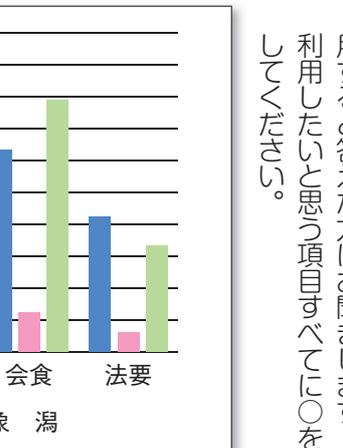
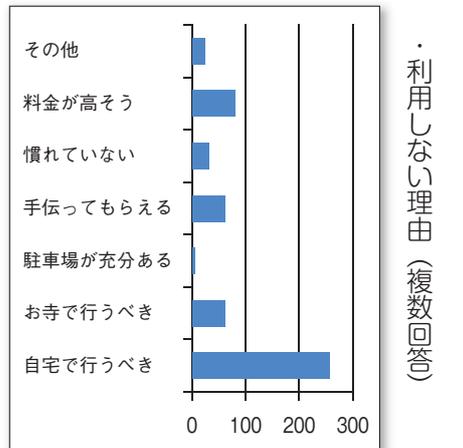
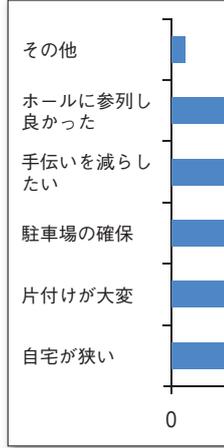
Q5 葬儀社を選択する基準は何ですか？ (複数回答)

基準	人数
付き合いのある葬儀社	350
見積をとり安いところ	150
事前相談し希望のかなうところ	120
親戚等の紹介	100
入会している葬儀社	80
その他	50

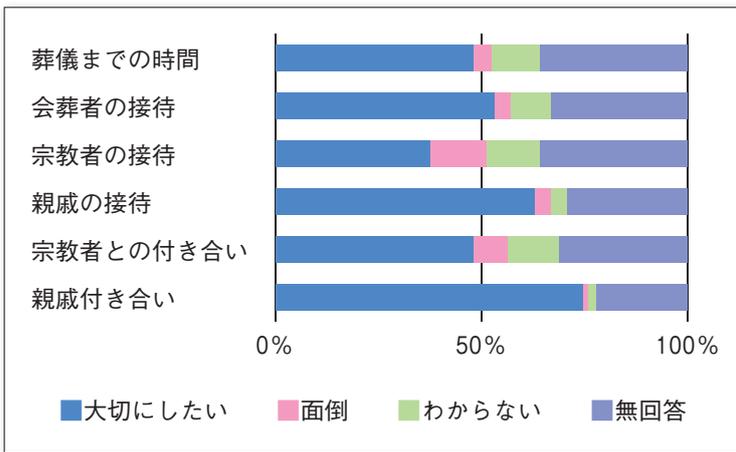
Q6 もしもの時、葬儀専門会場(ホール)でお葬式を行いますか？

利用する理由 (複数回答)

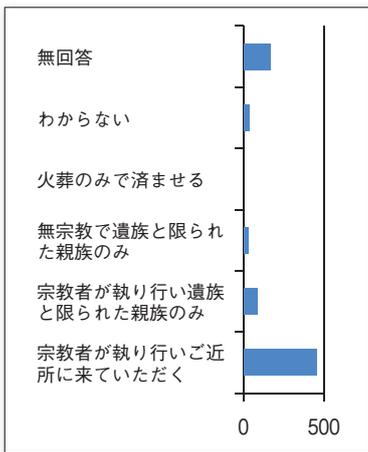
理由	人数
自宅が狭い	150
片付けが大変	180
駐車場の確保	100
手伝いを減らしたい	120
ホールに参列し良かった	100
その他	50



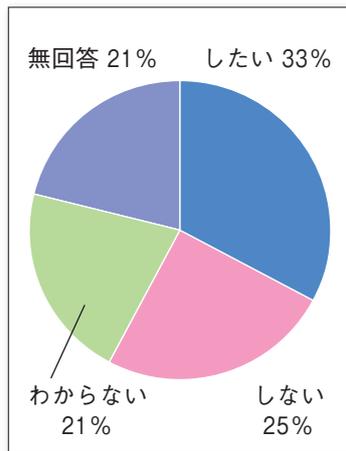
Q8 葬式を行うにあたり、次の項目は「大切にしたい」と思いますか？



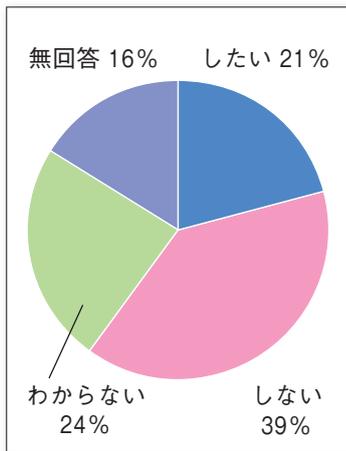
Q9 お葬式を行うとすれば、どのようなお葬式を行いたいですか？（複数選択可）



Q10 お葬式の事前相談をしたいと思いますか？



Q11 お葬式のための積立があれば積立をされますか？



Q12 お葬式を行うにあたり、不安に思っていることがありましたらお書きください

- ・費用に関すること……………12件
- ・ホールが近くになれば……………8件
- ・JA葬祭に対しての要望等……………9件
- ・事前の心構え等……………7件
- ・生活改善への要望……………3件
- ・家族への心配……………3件

調査の結果と今後の対応について

この度は、当社の意向調査について、675名の方々より、たくさんのご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。

Q4「お葬式をどこにお願いするか」の質問では、「地元業者」が31%、「JA葬祭」が29%の結果となりました。調査の対象が組合員であることから当社では、なお一層、組合員・みどりの会会員の皆様との繋がりが強化が必要と感じております。

Q5「葬儀社を選ぶ基準は、「付き合いのある葬儀社」が圧倒的に多く、次の「入会している葬儀社」の2倍以上となりました。さらに「事前相談し希望のかなうところ」、「見積をとり安いところ」が続いています。最近では、生前中に葬儀の話をする事はタブーではなくなってきました。複数の業者を比べながら、安心して任せられる業者を選らぶ方が増えています。Q10では33%の方が「お葬式の事前相談をした」と回答しています。

当社では、随時、相談を承りますので、お気軽にご相談ください。ほかに本誌「かけはし」やホームページ等を通じて、お客様と一緒に悩みを解決できるよう努力してまいります。

Q6「葬儀の際に葬祭ホール（以下、ホール）を利用するか」の質問では、利用する理由として「家の片づけが大変」、「自宅が狭い」、「手伝いの軽減」、「ホール葬儀に参列し良かった」、「駐車場の確保」の順でした。利用しない理由では、「自宅で行うべき」、「料金が高そう」、「お寺で行うべき」、「手伝ってもらえない」、「慣れていない」の順となりました。

また、ホールを利用すると回答された方を分析したところ、地域によって傾向が分かれました。仁賀保地区では「葬儀に利用したい」と回答した方が多く、金浦・象潟地区では「葬儀は自宅やお寺で行うべき」が多く、ホールを利用される方も「会食」が中心であることがわかりました。

Q9「葬儀をどのような形態で行いたいのか」の問いには、従来通り「宗教者が執り行い、一般の方に参列していただく」が大半を占める結果となりました。都市部を中心に多くなっている家族を中心に行う「家族葬」や火葬のみで済ませる「直葬（ちよくそう）」は少数でした。

Q11「葬儀費用の積立があれば利用しますか」の質問では、21%の方が「利用したい」という回答がありましたので、JAと協力して導入を検討してまいります。

最後に、今回の意向調査では、ホールの設置に向けて大変参考になりました。この結果は、今後の対応について活用させていただきます。ホール建設には、「みどりの会」会員の増加が必須となります。お得な特典がたくさんございますので、未加入の方は是非、ご入会賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今回の意向調査では、ホールの設置に向けて大変参考になりました。この結果は、今後の対応について活用させていただきます。ホール建設には、「みどりの会」会員の増加が必須となります。お得な特典がたくさんございますので、未加入の方は是非、ご入会賜りますようお願い申し上げます。

「焼香」

【焼香の回数】

宗派により回数が決められています。

〈曹洞宗〉

回数にこだわらないが通常2回。利き手の親指・人差し指・中指の三指で軽く香をつまみ、他の手のひらを下から添えて額のところまで戴き香炉にたきます。次に同じく三指で香をつまみ、そのまま添えるように香をたきます。

〈浄土宗〉・〈天台宗〉・〈臨済宗〉

特に定めがありません。

〈真言宗〉・〈日蓮宗〉

通常3回。

※これらの宗派では香を額に戴いて焼香します。

〈浄土真宗〉香を戴くことはしません。

本願寺派（西）1回。

大谷派（東）2回。

宗派の異なる仏事に参列する場合は、自分の宗派の作法で行っても礼を失することはありません。また、弔問者が多数の場合は、丁寧に1回焼香するようにします。

【焼香の作法】



①香炉を引き寄せ、合掌して軽く礼をします。



②利き手三指で香をつまみ、他の手のひらを下から添えて額まであげて戴きます。



③片手合掌のまま香をたきます。



④たき終わったら合掌のまま頭を深く下げて拝礼します。

マナーとして、焼香がスムーズに進むよう心がけましょう。和室で回し焼香の場合は、香炉が自分の所に回ってきたら香をたき、次の方に香炉を回してから合掌します。

火葬場などで、立って焼香する場合は、香をたき終わったら同じ場所で合掌せず、右か左（二列の時、右側の人は右、左側の人は左）に二歩位斜めに下がりそこで合掌します。

（出典：「あきた仏事10番」大坂高昭著
※焼香の回数については「葬儀概論」碑文谷創著を参考）

ちょっといい話

お線香 それは「心の携帯電話」

日本香堂が企画したバス旅行に添乗したバスガイドさんの乗客に贈られた言葉にぐっときました。

「今回のお客様がお線香の日本香堂さんと聞いて、天の計らいつて本当にあるものだと感じました。私事ですが、実は半年前に主人が亡くなりました。まだ結婚して間もない、とても短い夫婦の縁でした。バスガイドという職業柄、新婚であつても家を留守にすることも多く、添乗の旅先からかける携帯電話が、私達夫婦の心を通わせるかけがえのない時間でした。もう、その電話も通じることはありません。

今の私には、毎日お線香をあげ、主人に話しかけるひと時だけが生きる支えになっています。

私にとって、お線香は『心の携帯電話』なんです。」

（株）坂本屋「おすそわけ」10月号より





お客様の声

初棚の際の返礼品
手配につきまして
は特にご苦労をお
かけしました。プ
ラスワンのサービ
スに大変満足して
います。お客様は
プラスワンに感動
します。〈W様〉

大変お世話になり
ました。不明な点
も丁寧に教えてい
ただき、ありがと
うございました。
〈S様〉

いずれは死を迎え
る日が来るとは思
い気持ちは準備し
ていてもいざその
時になって自分で
はできないことが
多く、細かい面ま
で気づかって頂き
対応して貰い本当
に感謝しておりま
す。有難うござい
ました。〈S様〉

担当者の方は何度
と足を運んでくだ
さり、家族は何も
心配することなく
初めての葬儀の体
験でしたが安心し
親類からもよく出
来たと感じされま
した。葬祭セン
ターさんのおかげ
だと感謝しており
ます。〈M様〉

JA葬祭みどりの会 会員募集中

入会金10,000円で終身会員
となり、ご家族（同居）とな
った様でも特典をご利用いた
できます。

お問い合わせ・申し込みは、
株ジェイエイゆり葬祭センター
又はお近くのJAへ！

ホームページを
リニューアル
しました

検索は…

ゆり葬祭

検索

編集後記



「この人に聞く」で対話さ
せていただくことが、毎回楽
しみとなりました。今回は、
相互扶助が話題になりました
が、農協運動の原点です。「家
の光」11月号、「くらしの助
け合いネットワーク」にこん
な記事がありました。

「元氣なときには仲間を支
え、年をとったら支えてもら
う仕組みがあれば幸せですよ
ね。ただ、その幸せは人につ
くってもらうのではなく、自
分自身が作っていくものだ
と思うんです。

みんなが自主的に協力し合
うのが、本来の協同組合の姿
人が育てばJAはもっと強
くなると思うし、そんな仲間
に囲まれて老いていきたい。」
農家に定年なし。生涯、現役。
家族のためにがんばってきた
のだから、最後はみんな温
かく見送ってあげたい。その
お手伝いをするのが、私たち
JA葬祭の使命と感じており
ます。（正）

※「かけはし」についての感
想やお葬式にまつわる手記
などございましたら、お寄
せください。



(株)ジェイエイゆり葬祭センター

本店 / 〒015-0852 由利本荘市一番堰200-1

0120-2468-08

☎ 27-1718 FAX 27-1715

メールアドレス: jayurisousai@clock.ocn.ne.jp

JA葬祭 虹のホールゆり

由利本荘市川口字八幡前41-1

☎ 23-7716 FAX 23-7717

仁賀保営業所

にかほ市平沢字宮田37-1

☎ 62-8171 FAX 62-8172

年中無休・24時間受付